日能研	6年		
	算数		
学習内容	ファイナル②　総合問題演習 ファイナル③　総合問題演習 ファイナル④　総合問題演習		
家庭学習ポイント	12月から1月にかけては冬期講習・正月特訓を挟んで「合格力ファイナル」を用いた総合問題演習となっています。扱う内容は平面図形、速さ、水位、体積・表面積、旅人算、場合の数、割合、比といった重要単元になっており、演習を通じて最終確認を行います。合格判定テストを経て、いよいよ最終的な受験校が確定すると思います。ここからは、何にどれくらい時間を使うべきなのかを判断するのが一番難しいところです。志望校の傾向・難易度とお子様の得意分野や苦手分野、苦手の中でも伸ばすことができる分野の正確な判断受験プランに変更がない場合は「ひたすらに」、変更がある場合は「焦らず早急に」、新たな志望校対策を講じましょう。受験直前まで授業は組まれていますが、受講カットを検討すべき場合もあります。合格に向けて必要な家庭学習・過去問演習・弱点補強については、優先度は高めにして時間を確保しましょう。また、過去問演習においては、学校ごとに具体的な「取り組み方」も確認していきましょう。問題の優先順位や時間配分、書き方解き方の注意点などをノートにまとめておき、入試本番でも確認できるようにしておくとよいでしょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	現実的な受験校が出揃い、受験プランが確定しましたか？	チェック
	解決策	問題との「相性」もないとは言えません。過去問の出来なども参照しつつ最終決定局面です	□
	チェック2	「演習⇒解説」からの気づきが得点力アップにつながっていますか？	チェック
	解決策	通常授業の問題で気づいた課題から「次の得点」につなげる学びを続けていきましょう	□
	チェック3	過去問演習についても「◯・△・x」を意識して丸つけ、治しができていますか？	チェック
	解決策	ある学校の過去問の「△」の問題を解決することで、他の学校の対策にもなります	□
	チェック4	併願校も含め、過去門演習は順調に進んでいますか？	チェック
	解決策	時間がないようなら塾の授業を休んで家庭学習、という方法も検討しましょう	□
	チェック5	自分が得点すべき、武器となる分野がはっきりしていますか？	チェック
	解決策	そろそろ弱点補強の時期から、得意を伸ばす時期に変わっていきます	□

日能研	6年		
	国語		
学習内容	ファイナル②　総合問題演習 ファイナル③　総合問題演習 ファイナル④　総合問題演習		
家庭学習ポイント	12月は「ファイナル②〜④」で、文種ごとの読解の総まとめを行いつつ、漢字・語句知識についても総括がなされます。併願校の対策はもちろん、第一志望校の日特に通われていない場合は、そこの過去問演習も、ご家庭で進めていく必要があります。12〜1月の間に4つのテストが実施されます。過去問演習が計画通りに進んでいない場合は、「育成テスト」や「ファイナル256」についての優先順位は低めに考えた方が良いかもしれません。宿題の内容や量についても、「志望校で出題されるかどうか」を基準にした取捨選択が必要になってくる時期です。過去問については、進行度合を今一度チェックし、残り2か月で「どこの学校の何年度を演習するか」と「そのふり返りをどこで行うか」をスケジュール化してみましょう。受験校ごとの解き方を確認し、出題傾向に慣れるためには、すでに解いた問題をもう一度繰り返してみるのも有効です。		
課題の把握と解決策	チェック1	具体的な受験プランが固まってきましたか？	チェック
	解決策	新たに受験が決まった学校があれば、過去問研究に取り掛かりましょう	□
	チェック2	志望校の出題傾向がわかってきましたか？	チェック
	解決策	受験校を具体的に決める中で、その傾向についても過去問で確認していきましょう	□
	チェック3	過去問の直しから多くの学びを得ることができていますか？	チェック
	解決策	「次に正解させるべき問題」を意識して学習するようにしましょう	□
	チェック4	過去問演習は順調に進んでいますか？	チェック
	解決策	進行状況によっては、塾の平常授業などの欠席も視野に入れましょう	□
	チェック5	学校ごとの問題傾向、取り組みの注意などについて整理ができていますか？	チェック
	解決策	漠然にではなく、言葉にして整理しておくことが大切です	□

日能研	6年		
	理科		
学習内容	ファイナル②　総合問題演習 ファイナル③　総合問題演習 ファイナル④　総合問題演習		
家庭学習ポイント	「合格力ﾌｧｲﾅﾙ」を使った入試演習が中心の授業です。第１回は地学分野を、第２回は物理・化学分野を、第３回は生物分野を演習し、どの分野も出題頻度が高い単元から優先的に取り組みます。冬期講習では全単元の総まとめを行い、知識の最終確認を行います。過去問演習や合格判定テストで苦手な単元が明確になっている場合には、メモチェや四谷の四科のまとめを反復し、早急に基本の定着を図ってください。日特で志望校別コースを受講されている場合は、教材（銀本）を振り返り、基本知識の使い方・計算問題の解き方を確認してください。志望校別コースを受講されていない場合は、過去問演習で志望校の知識問題・計算問題・実験考察問題のレベルと傾向を確認し、残り２ヶ月で、お子さんに必要な演習問題（単元・傾向・量）を決め「市販の教材や志望校以外の過去問を使って演習を進める」など具体的なプランを立てて学習を進めてください。		
課題の把握と解決策	チェック1	知識の不足を感じていませんか？	チェック
	解決策	問題演習などで知識の不足を感じる場合は「メモリーチェック」「魔法ワザ」などで補強しましょう	□
	チェック2	グラフの読み取りなどに苦手意識を持っていませんか？	チェック
	解決策	縦軸、横軸を確認し、縦軸から横軸へ、そしてその逆を丁寧にたどりましょう	□
	チェック3	「問題演習→周辺知識を別テキストで学習」というサイクルが守れていますか？	チェック
	解決策	「解きっぱなし」にだけはならないよう注意してください	□
	チェック4	1問解き終わるごとに「ここで得た知識が志望校の問題にどう役立つか」考えていますか？	チェック
	解決策	「◯◯中だったらどんな出題をするだろうか」と考えてみるようにしましょう	□
	チェック5	過去問演習は予定通り進んでいますか？	チェック
	解決策	過去問の進み具合によっては、平日の授業を欠席して演習にあてるという選択も検討しましょう	□

日能研	6年		
	社会		
学習内容	ファイナル②　総合問題演習 ファイナル③　総合問題演習 ファイナル④　総合問題演習		
家庭学習ポイント	12〜1月にかけての日能研では、主に「合格力ファイナル」を使った入試問題演習が授業の中心となっていきます。冬期講習・正月特訓では時事問題を重点的に学習しますが、日々の学習の中心は日特や、志望校対策に特化したご家庭での過去問演習になります。この時期の6年生の中には、塾での社会の成績は悪くはなかったはずなのに、入試問題（過去問）ではいまいち得点できないという子がいます。非常に危険な状態ですので、そういった場合はできるだけ早くご塾の社会科担当の先生に相談ください。塾のテキスト、テスト、過去問演習など、今後取り組むすべての問題はお子さんの弱点をあぶりだす機会に過ぎません。解いて終わり、直して終わり、ではなく、その後に「何を覚えたのか」を重視して学習を進めましょう。覚えれば覚えた分だけ着実に得点率が上がっていくのが社会です。記述問題対策、地図問題対策など、特殊な出題形式への対策も含めて、できる準備はすべてやり切って本番に臨みましょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	歴史や地理の知識を、漢字で答えられる状態でつけていますか？	チェック
	解決策	人名や地名など、基本的に漢字で答えられる状態を目指しましょう	□
	チェック2	問題を「解きっぱなし」にせず、演習後に「周辺知識を覚える」時間をとっていますか？	チェック
	解決策	「問題を解く⇒不足していること＋αを補充する」の両輪があってこその演習授業です	□
	チェック3	時事的な問題について、志望校がどの程度詳細に出題するかを把握していますか？	チェック
	解決策	志望校の傾向に合わせて対策していきましょう	□
	チェック4	志望校の出題傾向にあわせた学習ができていますか？	チェック
	解決策	平常授業、志望校別特訓などもすべて「志望校合格」から逆算して活用のしかたを考えましょう	□
	チェック5	過去問演習は予定通り進んでいますか？	チェック
	解決策	特に受験計画の変更があった場合は、過去問計画も柔軟に変更しましょう	□